

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 12 日 (2020.11.12)

【公表番号】特表 2017-534266 (P2017-534266A)

【公表日】平成 29 年 11 月 24 日 (2017.11.24)

【年通号数】公開・登録公報 2017-045

【出願番号】特願 2017-516694 (P2017-516694)

【国際特許分類】

A 2 4 B 3/14 (2006.01)

A 2 4 B 15/30 (2006.01)

【F I】

A 2 4 B 3/14

A 2 4 B 15/30

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 2 年 9 月 23 日 (2020.9.23)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

均質化したたばこ材料を調製するための方法であって、

約 0.2 ミリメートル～約 4 ミリメートルから成る平均サイズを有する繊維を得るためにセルロース繊維をパルプ化および精製する工程と、

1 つ以上のたばこタイプのたばこのブレンドを、約 0.03 ミリメートル～約 0.12 ミリメートルから成る平均サイズを有するたばこ粉末へ粉砕する工程と、

スラリーを形成するために、前記パルプを、異なるたばこタイプのたばこ粉末ブレンドと組み合わせ、かつ前記均質化したたばこ材料の総重量の乾燥質量基準で約 1 パーセント～約 5 パーセントから成る量で結合剤と組み合わせる工程と、

前記スラリーを均質化する工程と、

前記スラリーから前記均質化したたばこ材料を形成する工程と、

を含み、

パルプ化および精製する前記工程が、

前記セルロース繊維を少なくとも部分的にフィブリル化する工程を含む、
方法。

【請求項 2】

前記スラリーを振動する工程を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

パルプ化および精製する前記工程が、

約 1 ミリメートル～約 3 ミリメートルから成る平均サイズを有する繊維を得るためにセルロース繊維をパルプ化および精製する工程を含む、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

パルプ化および精製する前記工程が、

濃縮したパルプを形成する工程であって、前記セルロース繊維の量が前記濃縮したパルプの総重量の約 3 パーセント～約 5 パーセントの量である、工程と、

前記濃縮したパルプを希釈する工程であって、前記セルロース繊維の量が前記希釈したパルプの総重量の約 1 パーセント未満である、工程と、を含む、請求項 1 ～ 3 のいずれか

1 項に記載の方法。

【請求項 5】

エアロゾル形成体を前記スラリーに添加する工程を含む、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 6】

前記スラリーから均質化したたばこ材料を形成する前記工程であって、
前記スラリーのウェブをキャストニングする工程と、
キャストウェブを乾燥する工程と、を含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 7】

1 つ以上のたばこタイプのたばこをブレンドする前記工程が、以下のたばこ、すなわち、
ブライトたばこ、
ダークたばこ、
アロマティックたばこ、
フィルターたばこ、のうちの 1 つ以上をブレンドする工程を含む、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 8】

均質化したたばこ材料であって、
セルロース繊維および水を含むパルプと、
約 0.03 ミリメートル ~ 約 0.12 ミリメートルの平均粉末サイズを有する異なるたばこタイプの粉末のブレンドと、
前記均質化したたばこシートの乾燥質量で約 1 パーセント ~ 約 5 パーセントの量の結合剤と、を含み、
前記たばこ粉末ブレンドに添加される前記セルロース繊維が、前記均質化したたばこシートの総重量の乾燥質量基準で約 1 パーセント ~ 約 3 パーセントから成る量であり、かつそれらの平均サイズが約 0.2 ミリメートル ~ 約 4 ミリメートルから成り、
前記たばこ粉末ブレンドに添加される前記セルロース繊維が、少なくとも部分的にフィブリル化される、
均質化したたばこ材料。

【請求項 9】

前記たばこ粉末ブレンドに添加される前記セルロース繊維の前記平均サイズが約 1 ミリメートル ~ 約 3 ミリメートルから成る、請求項 8 に記載の均質化したたばこ材料。

【請求項 10】

約 1 ミリメートル ~ 3 ミリメートルから成る平均サイズを有する前記たばこ粉末ブレンドに添加されるセルロース繊維の割合が、前記パルプの中の前記セルロース繊維の前記サイズの標準偏差の 4 倍に等しい、請求項 8 または 9 に記載の均質化したたばこ材料。

【請求項 11】

前記たばこ粉末ブレンドに添加される前記セルロース繊維が木材セルロース繊維を含む、請求項 8 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の均質化したたばこ材料。

【請求項 12】

前記結合剤がグアーを含む、請求項 8 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の均質化したたばこ材料。

【請求項 13】

エアロゾル形成体を含む、請求項 8 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の均質化したたばこ材料。

【請求項 14】

請求項 8 ~ 13 に記載の均質化したたばこ材料の一部分、または請求項 1 ~ 8 に記載の方法により実現される均質化したたばこ材料の一部分を含むエアロゾル発生物品。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0019

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0019】

パルプ化および精製する工程は、セルロース繊維を少なくとも部分的にフィブリル化する工程を含むことが好ましい。本明細書で考慮されているフィブリル化されるセルロース繊維は、たばこブレンドの中に含有されているセルロース繊維に添加されるものである。添加された繊維のフィブリル化は、均質化したたばこウェブの強化を改善する場合がある。繊維のフィブリル化を得るために、繊維は、例えば、機械的摩擦力、剪断力、および圧縮力を受ける。フィブリル化は、セルロース繊維の細胞壁の部分的剥離を含む場合があり、結果として、顕微鏡で見ると毛で覆われたような外観を湿ったセルロース繊維の表面にもたらす。この「毛」はマイクロフィブリルとも呼ばれる。最も小さいマイクロフィブリルは、個別のセルロース鎖ほど小さくてもよい。フィブリル化は、スラリーが乾燥した後のセルロース繊維間の相対結合面積を増加し、均質化したたばこウェブの引張強さを増加する傾向がある。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0037

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0037】

有利なことに、添加されるセルロース繊維は少なくとも部分的にフィブリル化される。好ましい実施形態では、結合剤はグアーを含む。均質化したたばこ材料は、キャストリーフたばこであってもよい。スラリーは、たばこ粉末、ならびに好ましくは繊維粒子、エアロゾル形成体、風味、および結合剤のうちの1つ以上を含む。関連する利点は上記の発明の方法と併せて既に説明され、そして単純化のために繰り返さない。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0076

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0076】

パルプ調製の工程107の後、随意の繊維のフィブリル化の工程が実施されることが好ましい（図1に図示せず）。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0080

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0080】

セルロース繊維供給調製ライン400は、繊維を処理およびフィブリル化するための繊維精製システム403もさらに含み、これにより長い繊維および絡まった繊維が取り除かれ均一な繊維分布が得られる。